

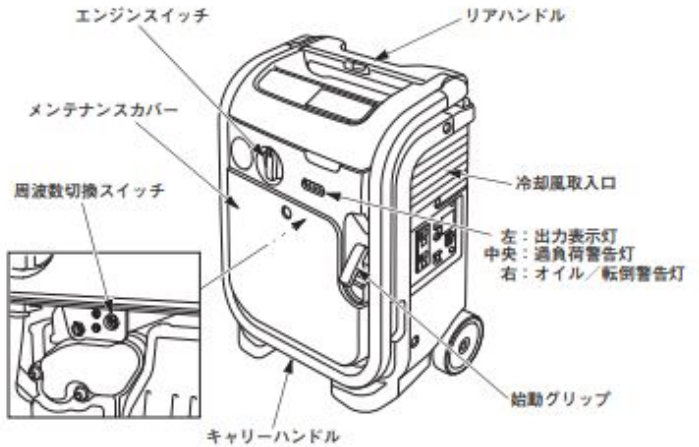
# オーベル横浜鶴見のHONDA発電機（ポンプ室保管）

**HONDA**  
汎用製品

発電機  
**EU9iGB**  
取扱説明書



## 各部の名称と取扱いをおぼえましょう



### オイル/転倒警告灯

エンジンオイル量の不足と本機の転倒を警告するランプです。  
 ・本機のエンジンにはオイルアラート機構（焼付防止エンジン自動停止装置）が内蔵されています。  
 運転中にエンジンオイルが不足すると、オイル/転倒警告灯（赤のランプ）が点灯し、エンジンは自動的に停止します。  
 始動グリップを引いてオイル/転倒警告灯（赤のランプ）が点灯する場合、または運転中にオイル/転倒警告灯が点灯しエンジンが停止した場合は、エンジンオイル量を点検してください。  
 （点検・補給は26頁参照）  
 ・オイルが規定量入っても、本機が傾斜しているとオイルアラート機構または、転倒センサーが作動してエンジンが停止することがあります。

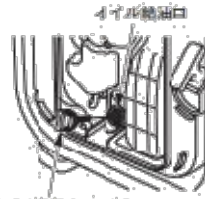


### エンジンオイルの点検

エンジンオイルの点検・補給は、縦置き状態で行ってください。

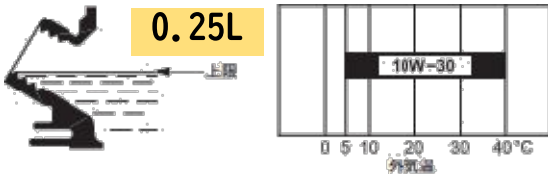


**点検**  
 メンテナンスカバーの取付けネジをゆるめて、カバーを外します。（21頁参照）  
 オイル給油キャップを外し、オイル給油口の口元までオイルがあることを確認してください。  
 汚れや変色が著しい場合は交換してください。（交換方法は48頁参照）



**補給**  
 少ないときは新しいオイルの口元まで補給します。

・推奨オイル  
 Honda純正ウルトラ G1または、ウルトラ G1汎用（SAE 10W-30）  
 または API分類 SE 級以上の SAE 10W-30 オイルをご使用ください。



点検・補給後、オイル給油キャップをゆるまないように確実に締付けてください。

#### 取扱いのポイント

オイル給油キャップは確実に締付けてください。締付けがゆるいとオイルが漏れることがあります。

1. メンテナンスカバーの取付けネジをゆるめて、カバーを取外します。（21頁参照）
2. オイル給油キャップを外し、本機を傾けてオイルを抜きます。



3. 本機を縦置きの状態にし、新しいエンジンオイルを注入口の口元まで注入します。



4. 注入後、オイル給油キャップをゆるまないように確実に締付けます。
5. メンテナンスカバーを確実に取付けます。

#### 取扱いのポイント

- ・給油キャップは確実に締付けてください。締付けがゆるいとオイルが漏れることがあります。
- ・交換後のエンジンオイルはゴミの中や地面、排水溝などに捨てないでください。オイルの処理方法は法令で義務付けられています。法令に従い適正に処理してください。不明な点はオイルをお買いあげになったお店にご相談のうえ処理してください。
- ・オイルは使用しなくても自然に劣化します。定期的に点検、交換を行ってください。